

認知症を理解して サービス向上

認知症サポーター養成講座

11月4日(水)、室蘭信用金庫若草支店で『認知症サポーター養成講座』(市主催)が開催され、同金庫の職員16人が受講しました。

この講座は、地域の皆さんに認知症を正しく理解してもらおうと、町内会などの要望に応じて随時開催されています。今回は、年金の受け取りなどで金融機関を利用される高齢者が多いことから、市が金融機関に開催を呼びかけ、実現したもので、市内の金融機関では初めて行われました。

講座では、まず認知症についての講義が行われ、「認知症の方は考えるスピードが遅くなるので、窓口では急がせないように」と認知症の方と接するときの心がまえなどを説明。その後、ビデオを鑑賞し、参加者は認知症について理解を深めていました。



▲子どもたちがいっぱい会場で歌う
井上あずみさん(中央)とドリーミング(左右)

初めてのコンサートは 楽しいな

井上あずみ&ドリーミング
ファミリーコンサート

11月5日(木)、市民会館で『井上あずみ&ドリーミングファミリーコンサート』が開催されました。

このコンサートは、登別・室蘭・伊達市の合同事業として開かれたもので、宮崎駿監督作品の主題歌・挿入歌を歌う井上あずみさんと『それいけ!アンパンマン』の主題歌・挿入歌を歌う双子ユニット・ドリーミングを迎え、テレビでおなじみの歌などが披露されました。

子どもたちはスタジオジブリの名作やアンパンマンの主題歌など、普段テレビで聞いている歌を間近で聞き大興奮。アンパンマン体操では、子どもたちも席から立って一緒に踊り、最後には、とんりのトトロを会場全員で歌うなど、子どもたちの元気な歌声が会場に響いていました。

深まりゆく秋を図書館で楽しむ 第5回図書館まつり

10月27日(火)〜11月8日(日)、『時代を超えて』をテーマに、市立図書館で『図書館まつり』(市主催)が開催されました。

イベントは、27日の市内在住の漫画家横山孝雄さんによる著書や原画の展示からスタート。11月3日(火)には、その横山さんの講師に『文化講演会』が開催されました。『漫画パワーの功罪』と題した講演では、漫画の生い立ちや子どもを戦争に駆り立てるために利用された漫画の悲しい過去などを紹介、また、赤塚不二夫さんと過ごした『ときわ荘』の思い出が語られるなど、来場した方を漫画の魅力に引き込みました。

8日(日)には、図書館や小学校などで読み聞かせなどのボランティアを行う団体などが集い、わらべうたや手遊び、英語による絵本の読み聞かせや紙芝居などが行われました。参加した方たちは読み聞かせに聴き入り、子どもたちは、一緒に手遊びをしたり、わらべうたを歌ったりするなど絵本の魅力を満喫。また、子どもの抹茶体験コーナーが設けられるなど、参加者は思い思いに深まりゆく読書の秋を楽しんでいました。



▲11月3日(火)の文化講演会の様子



▶11月8日(日)のボランティア団体による手あそび『ぞうのぼたん』